

久保より江 久保 俳人。明治十七年九月十七日愛媛縣生れ、昭和十六年五月十一日歿（八十四一六五二）。舊姓宮本。筆名久保より之、久保より之子、久保より江子。東京府より第一高等女學校卒。久保猪之吉の嫁と福岡の居住。清原栞童の俳句を學ぶ、うち高濱虚子に師事。『ホトトギス』同人。また短歌、小説も作る。

編著書 『瑠璃草』(編、明治二十七年九月十日積社藏版、文友館。改題再刊 『花情月感』の思ひ出(瑠璃草之卷)』(大正元年十一月十五日文藝出版社)、 『嫁ぬすみ』(大正十四年八月十日政教社)、 『より江句

文集』(昭和二年五月八日京都・京鹿子發行所「京鹿子叢書」)等。